

21世紀の“とちぎ”づくりに関する**県民意向調査**の概要

平成16年3月

栃木県企画部

○目次
序 調査の概要
1. 生活の関心事
2. これからの望ましい「とちぎ」の姿
3. 「とちぎ」の現状評価と、これからの取組の必要性
4. 今後の行政サービス等と税金等の負担の関係
5. よりよい「とちぎ」づくりに向けた参加意向

序 調査の概要

(1) 調査の目的

本調査は、次期総合計画の策定に必要な資料を得るため、生活の関心事、望ましい郷土の姿、「とちぎ」の現状に対する評価、行政の取組に対する期待等に関して、県民の意向を調査したものである。

(2) 調査の内容

本調査は、以下の質問項目によりアンケート調査を実施した。

- 問1 生活の関心事
- 問2 これからの望ましい「とちぎ」の姿
- 問3 「とちぎ」の現状評価と、これからの取組の必要性
- 問4 今後の行政サービスと税金等の負担の関係
- 問5 よりよい「とちぎ」づくりに向けた参加意向

(3) 調査の実施方法

アンケート調査の対象者は、20歳以上の県民として無作為抽出法により抽出し、平成16年2月に実施した。

配布数は、5,000票で回収数は2,286票（有効回収率45.7%）であった。

回答者プロフィール（2,286人）

〔男女別構成〕

男性 1,129人(49.4%)
 女性 1,143人(50.0%)
 無回答 14人(0.6%)

〔年代別構成〕

20歳代 207人(9.0%)
 30歳代 315人(13.8%)
 40歳代 435人(19.0%)
 50歳代 545人(23.8%)
 60歳代 447人(19.6%)
 70歳以上 326人(14.3%)
 無回答 11人(0.5%)

〔職業別構成〕

農林水産業 129人(5.5%)
 自営業・自由業 299人(13.1%)
 会社員・団体職員・公務員 758人(33.2%)
 パート・アルバイト 256人(11.2%)
 無職（専業主婦・学生含む） 703人(30.8%)
 その他 121人(15.3%)
 無回答 19人(0.8%)

〔地域別構成〕

県北地域 584人(25.5%)
 県央地域 954人(41.7%)
 県南地域 737人(32.2%)
 無回答 14人(0.6%)

〔県外居住経験別構成〕

本県以外の居住年数が長い 264人(11.5%)
 他県より本県の居住経験が長い 809人(35.4%)
 本県以外の居住経験なし 1,166人(51.0%)
 無回答 47人(2.1%)

1. 生活の関心事

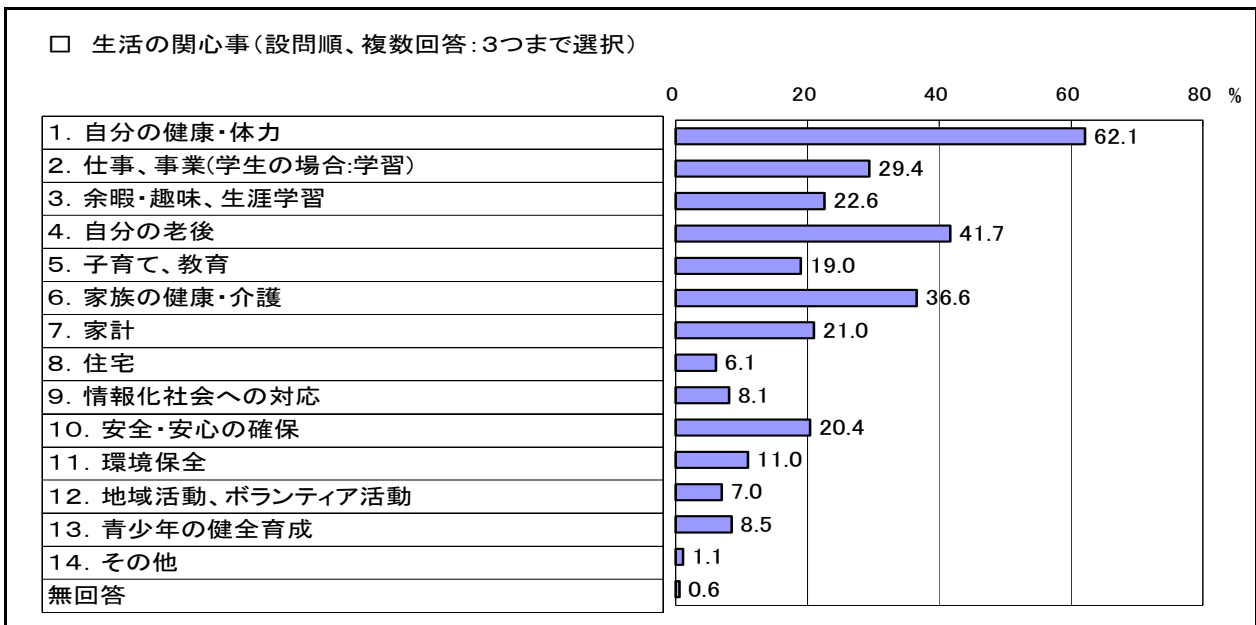
県民ニーズの方向性を把握するため、県民の最近の生活の関心事を確認したものである。

全体でみると、「自分の健康・体力」を選択した割合が62.1%と最も高く、次いで「自分の老後」(41.7%)、「家族の健康・介護」(36.6%)となっており、自分・家族の健康や将来の生活設計についての関心度合いが高い。

男女別では、「仕事・事業」を選択した男性が39.3%と、女性の20.0%を大きく上回っている。一方、女性では「自分の老後」「家族の健康・介護」「家計」が男性を上回っている。

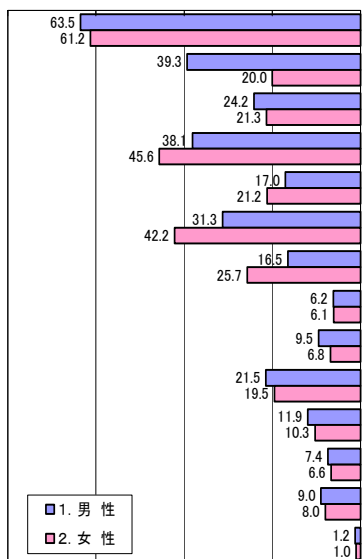
年代別では、20～30歳代で「仕事・事業」「子育て、教育」「余暇・趣味、生涯学習」が、60歳代以上で「自分の健康・体力」「自分の老後」「家族の健康・介護」を選択した割合が、それぞれ他の年代と比べて高くなっている。

職業別では、その職業を構成する性別や年齢等の状況による差が見られた。
地域別、県外居住経験別では、明らかな差はない。



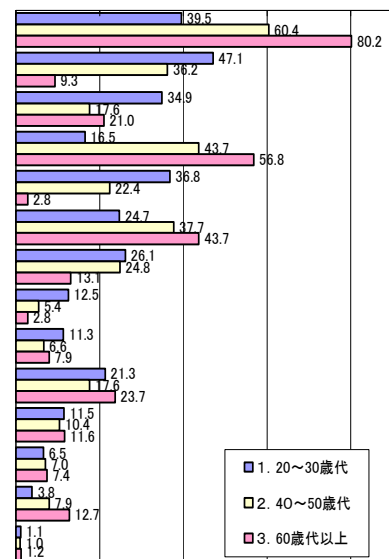
■ 性別

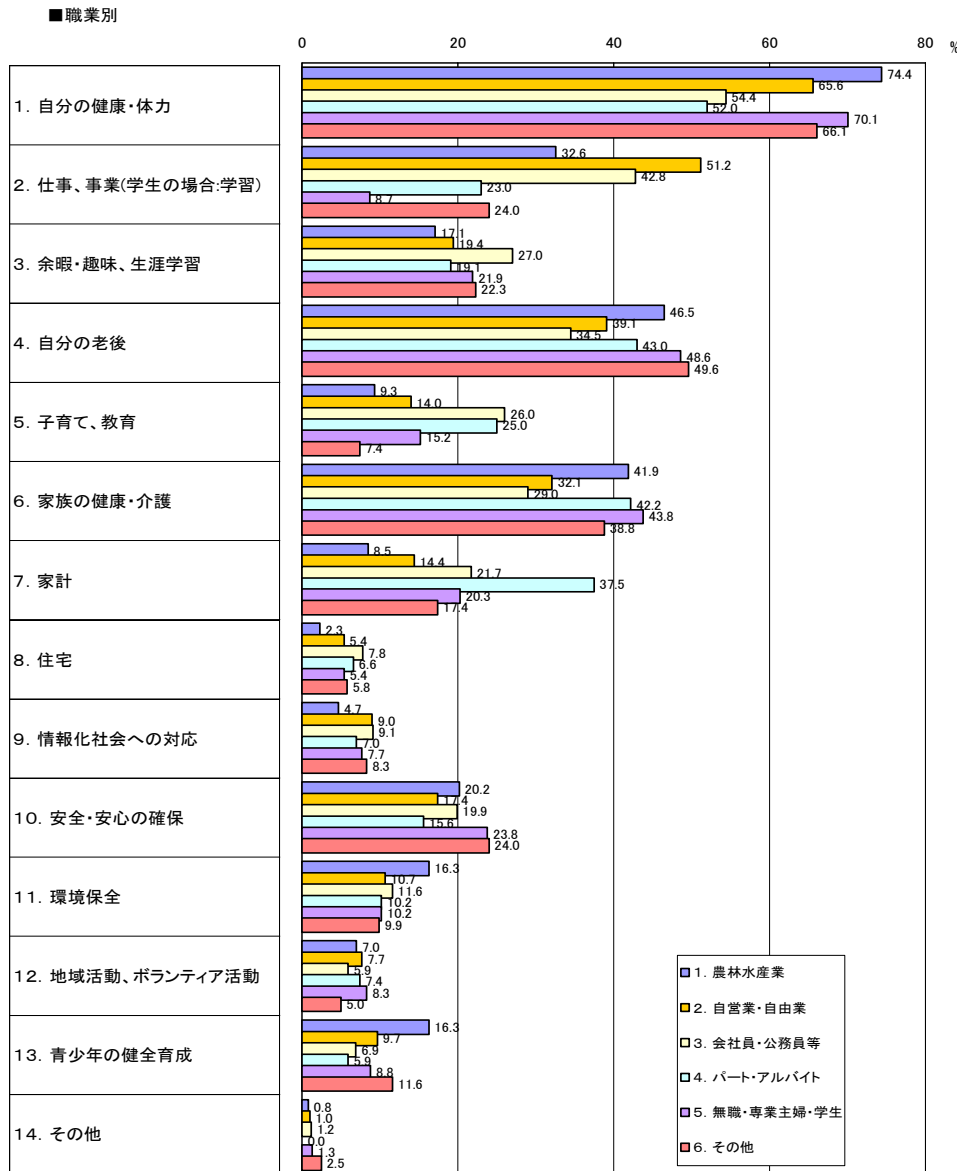
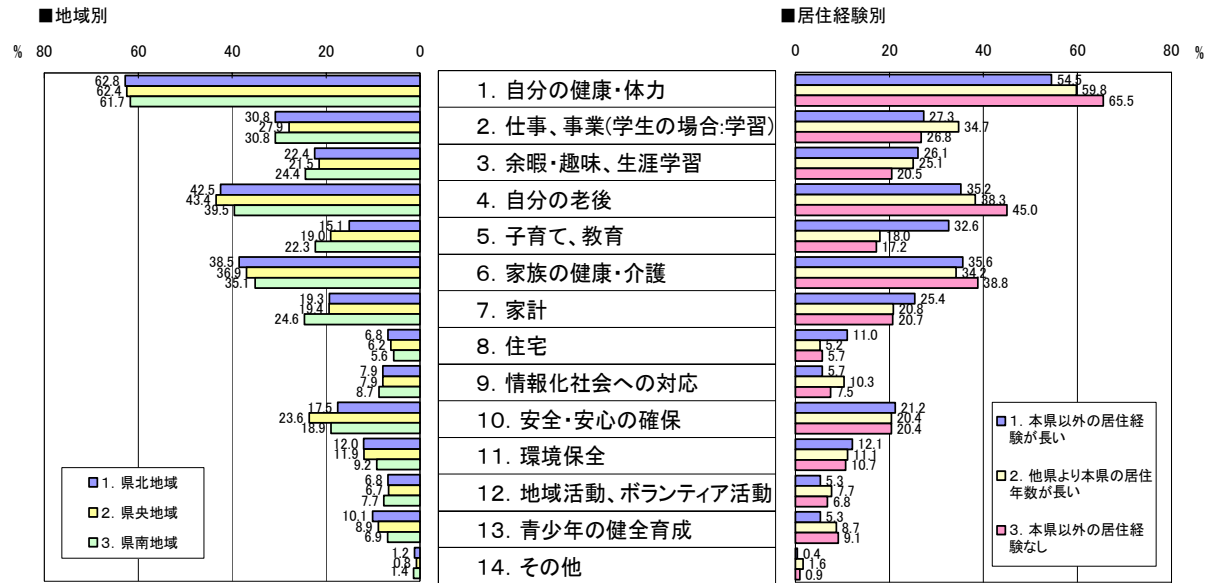
% 80 60 40 20 0



■ 年代別

0 20 40 60 80 %





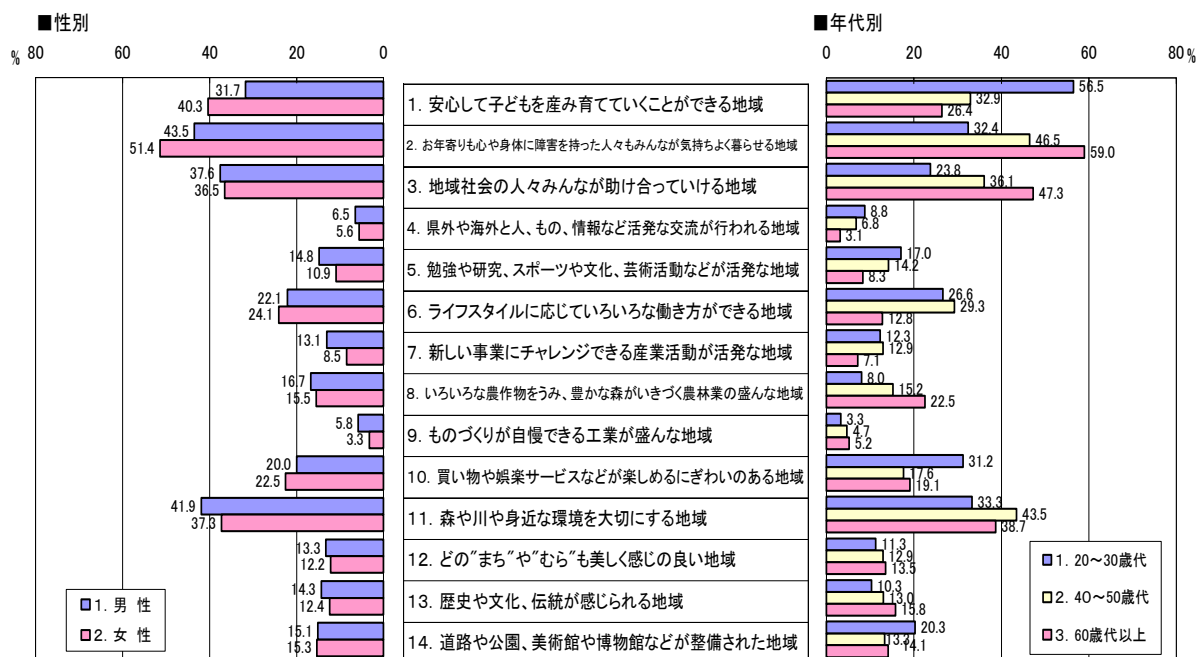
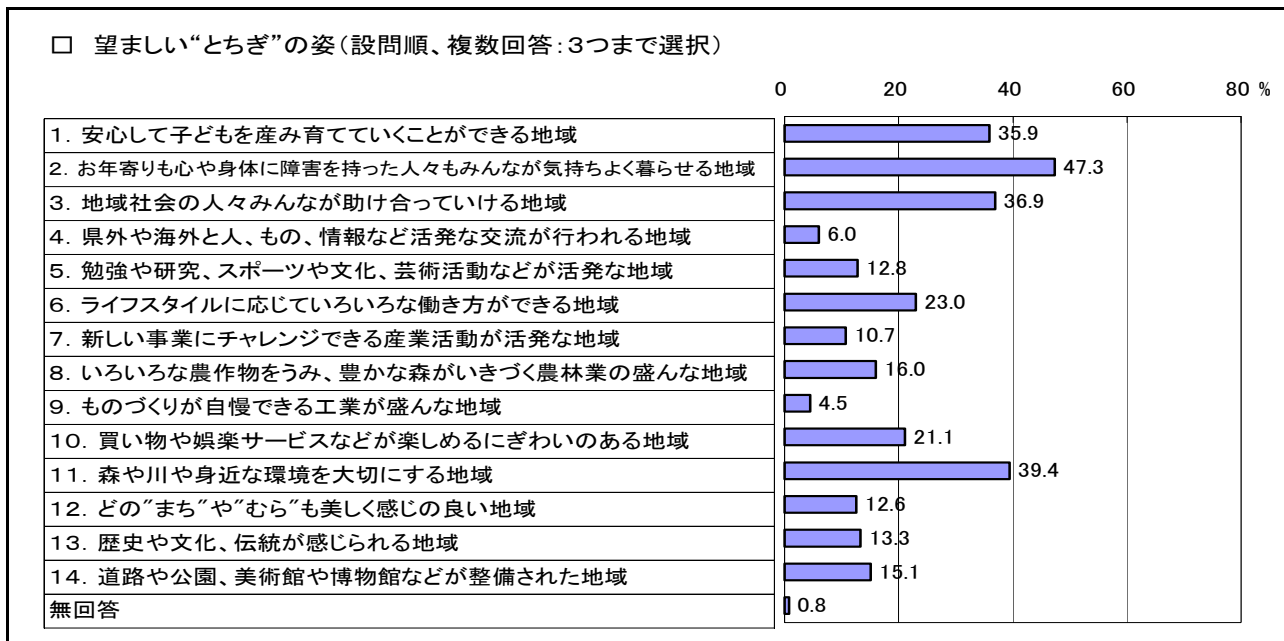
2. これからの望ましい「とちぎ」の姿

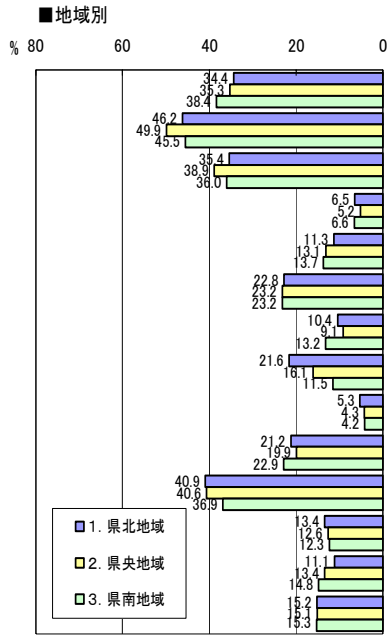
県民が望む郷土「とちぎ」の将来イメージを把握するものである。

全体でみると、「お年寄りも心や身体に障害を持った人々もみんなが気持ちよく暮らせる地域」を選択した割合が47.3%と最も高く、次いで「森や川や身近な環境を大切にする地域」(39.4%)、「地域社会の人々みんなが助け合っている地域」(36.9%)、「安心して子どもを産み育てていくことができる地域」(35.9%)となっている。

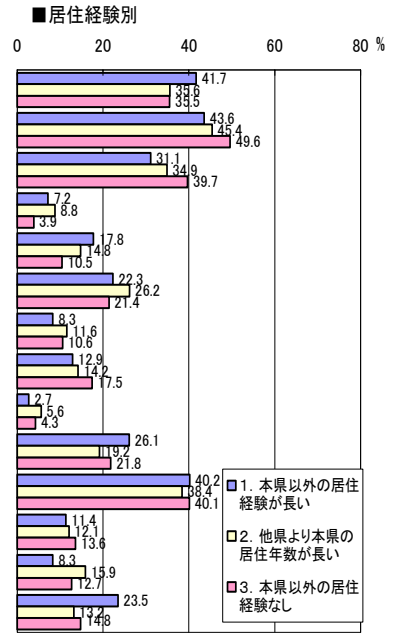
男女別で、大きな差異は見られない。

年代別では、20～30歳代の半数以上が「安心して子どもを産み育てていくことができる地域」を選択している。また、60歳代以上の半数以上が「お年寄りも心や身体に障害を持った人々もみんなが気持ちよく暮らせる地域」を選択したほか、「地域社会の人々みんなが助け合っている地域」も他の年代に比べて高い。

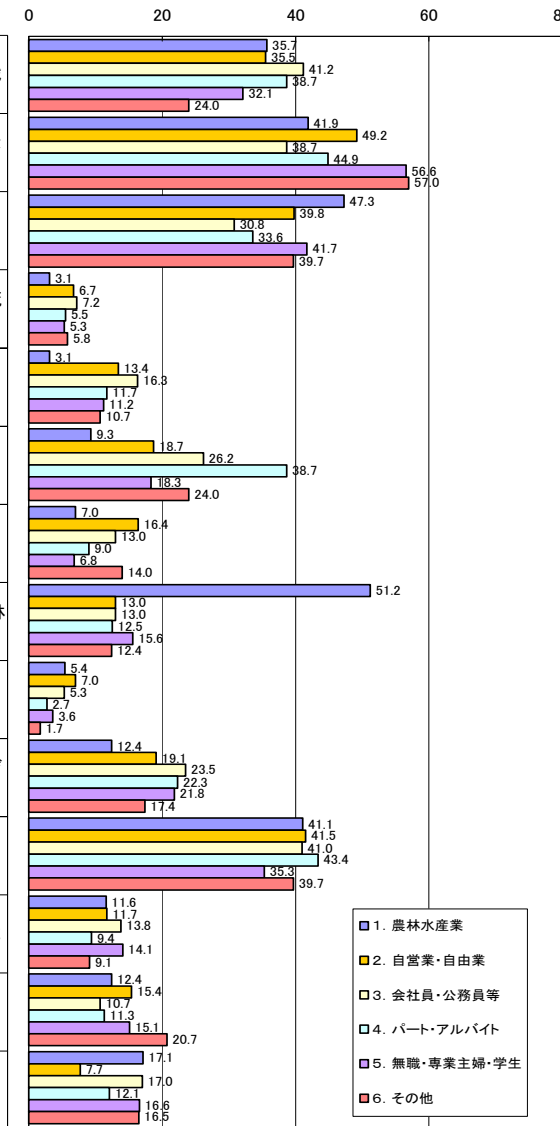




- 安心して子どもを産み育てていくことができる地域
- お年寄りも心や身体に障害を持った人々もみんなが気持ちよく暮らせる地域
- 地域社会の人々みんなが助け合っている地域
- 県外や海外と人、もの、情報など活発な交流が行われる地域
- 勉強や研究、スポーツや文化、芸術活動などが活発な地域
- ライフスタイルに応じていろいろな働き方ができる地域
- 新しい事業にチャレンジできる産業活動が活発な地域
- いろいろな農作物をうみ、豊かな森がいきづく農林業の盛んな地域
- ものづくりが自慢できる工業が盛んな地域
- 買い物や娯楽サービスなどが楽しめるにぎわいのある地域
- 森や川や身近な環境を大切にする地域
- どの“まち”や“むら”も美しく感じの良い地域
- 歴史や文化、伝統が感じられる地域
- 道路や公園、美術館や博物館などが整備された地域



- 職業別
- 安心して子どもを産み育てていくことができる地域
 - お年寄りも心や身体に障害を持った人々もみんなが気持ちよく暮らせる地域
 - 地域社会の人々みんなが助け合っている地域
 - 県外や海外と人、もの、情報など活発な交流が行われる地域
 - 勉強や研究、スポーツや文化、芸術活動などが活発な地域
 - ライフスタイルに応じていろいろな働き方ができる地域
 - 新しい事業にチャレンジできる産業活動が活発な地域
 - いろいろな農作物をうみ、豊かな森がいきづく農林業の盛んな地域
 - ものづくりが自慢できる工業が盛んな地域
 - 買い物や娯楽サービスなどが楽しめるにぎわいのある地域
 - 森や川や身近な環境を大切にする地域
 - どの“まち”や“むら”も美しく感じの良い地域
 - 歴史や文化、伝統が感じられる地域
 - 道路や公園、美術館や博物館などが整備された地域



3. “とちぎ”の現状についての評価と、これからの取組の必要性など

(1) “とちぎ”の現状評価について

行政の取組だけでなく民間等の活動も含めて、県民が、郷土“とちぎ”の現状をどう評価しているかを把握するため、「とちぎ 21 世紀プラン」の政策体系に基づく 73 の施策を 57 の分野に分け、次の区分により選択してもらった。なお、施策と設問分野の関係は、次ページのとおりである。

【現状評価の程度】

- | | | |
|-------------|--------------|--------------|
| 1. 充実している | 2. わりと充実している | 3. どちらともいえない |
| 4. やや不十分である | 5. 不十分である | 6. わからない |

57 分野の現状評価結果は p 8（満足意識の高い順）、p 9（不満意識の高い順）のとおりである。

また、各分野ごとに、「充実している」「わりと充実している」と回答した者の割合の合計を『満足意識』、「やや不十分である」「不十分である」と回答した者の割合の合計を『不満意識』として示した。

なお、男女別、年代別、地域別区分は、それぞれ『満足（不満）意識』の高い分野についての第 5 順位までを、また、県外居住経験別はすべての分野の『満足（不満）意識』を後掲の「参考表」において整理した。

①全体の特徴

『満足意識』の高い分野は、

- ・ 「38. 安全で安定した水の供給」(44.7%)
- ・ 「25. 特色ある農産物の生産」(40.3%)

一方、『不満意識』の高い分野は、

- ・ 「36. 雇用の安定と職業能力の向上」(61.1%)
- ・ 「2. 心の教育」(57.8%)
- ・ 「6. 青少年の健全育成」(57.4%)
- ・ 「32. 地域に密着した産業の育成」(56.4%)
- ・ 「21. ひとにやさしいまちづくり」(55.3%)
- ・ 「48. 犯罪のない地域づくり」(55.3%)

②属性別の特徴

男女間で『満足意識』の差が大きい分野は「47. 災害対策」で、男性 21.8%、女性 15.3%である。

年代間では、「38. 安全で安定した水の供給」が、60 歳代以上で 50.9%であるのに対して、20～30 歳代は 36.9%である。

地域間では「38. 安全で安定した水の供給」が、県央で 47.5%、県南で 40.3%である。

★とちぎ21世紀プランの政策体系

基本目標1	111	生きる力をはぐくむ学校教育の推進
	112	社会の変化に対応した学校教育の充実
	113	個性を生かす学校教育の充実
	115	私学教育の振興
	114	豊かな教育環境づくりの推進
	121	青少年を育成する基盤づくり
	122	青少年の自立と社会参加の促進
	123	青少年を取り巻く環境の健全化の推進
	131	生涯学習の推進
	132	県民文化の振興
	133	県民総スポーツの推進
	141	県民の社会参加の促進
	142	県政への県民参加の推進
	143	イメージアップの推進
144	国際化の推進	

☆〔県民意向調査における質問項目〕

I	1	基礎学力の向上
	2	心の教育
	3	社会の変化に対応した学校教育の充実
	4	個性を生かせる学校教育の充実
	5	快適でゆとりある教育環境
	6	青少年の健全育成
	7	生涯学習
	8	県民文化
	9	県民総スポーツ
	10	社会貢献活動
	11	県政への県民参加
	12	本県のイメージアップ
	13	国際化への対応

基本目標2	211	子どもを健やかに生み育てる環境づくりの推進
	212	高齢者の自立支援と生きがいづくりの推進
	213	障害者の自立支援と社会参加の推進
	221	健康づくりの推進
	222	安心で良質な医療の確保
	231	地域保健福祉の充実
	232	保健・医療・福祉を支える人材の育成
	233	ひとにやさしいまちづくり
	241	人権の尊重
	243	同和問題の解決
	242	男女共同参画の促進

II	14	子育て環境
	15	高齢者の自立と生きがいづくり
	16	障害者の自立と社会参加
	17	健康づくり
	18	医療サービス
	19	地域社会における保健福祉ネットワーク
	20	保健・医療・福祉を支える人材の育成
	21	ひとにやさしいまちづくり
	22	人権を尊重する社会づくり
	23	男女共同参画社会づくり

基本目標3	311	活力ある担い手の育成
	312	地域性豊かな農業生産の推進
	313	消費者の視点を重視した流通対策の推進
	314	環境と調和のとれた持続的な農業生産の推進
	315	食と農を支える基盤づくり
	321	豊かな森林づくり
	322	特用林産（きのこ・山菜・木炭など）の振興
	323	流域林業（生産から流通まで）の推進
	331	新たな事業創出の促進
	332	中小企業の経営資源の充実
	333	地域に密着した産業の育成
	334	産業基盤の整備と企業立地の促進
	341	“観光とちぎ”の誘客推進
	342	地域と一体となった観光の振興
	351	勤労者生活の向上
	352	地域雇用の安定
353	職業能力の開発と技能向上支援	

III	24	農産物の安定供給
	25	特色ある農産物の生産
	26	安全・安心な農産物の生産と流通
	27	食と農の理解促進
	29	森林の整備
	28	林業の活性化
	30	新事業の創出
	31	中小企業への支援
	32	地域に密着した産業の育成
	33	企業誘致
	34	観光の振興
	35	就労環境
36	雇用の安定と職業能力の向上	

基本目標4	411	良好な住まい・住環境づくり
	412	安全で安定した水の供給
	413	適切な土地利用の推進
	414	下水道の整備普及
	421	快適で活力ある都市の整備
	422	住みよい農山村づくり
	423	美しい景観づくり
	424	地域の特性を生かしたふるさとづくり
	425	花と緑あふれる環境の整備
	426	特色ある公園や親しみある水辺の整備
	431	公共交通ネットワークの整備
	432	体系的な道路網の整備
	433	快適で安全な道づくり
	434	地域情報ネットワークの整備
	441	治山・治水・砂防の推進
	442	地域防災力の向上
	443	防災基盤の整備
	451	地域安全対策の充実
	452	被害者・相談者への支援活動の強化
	453	交通安全の確保
454	消費生活の安定	
455	生活衛生の確保	

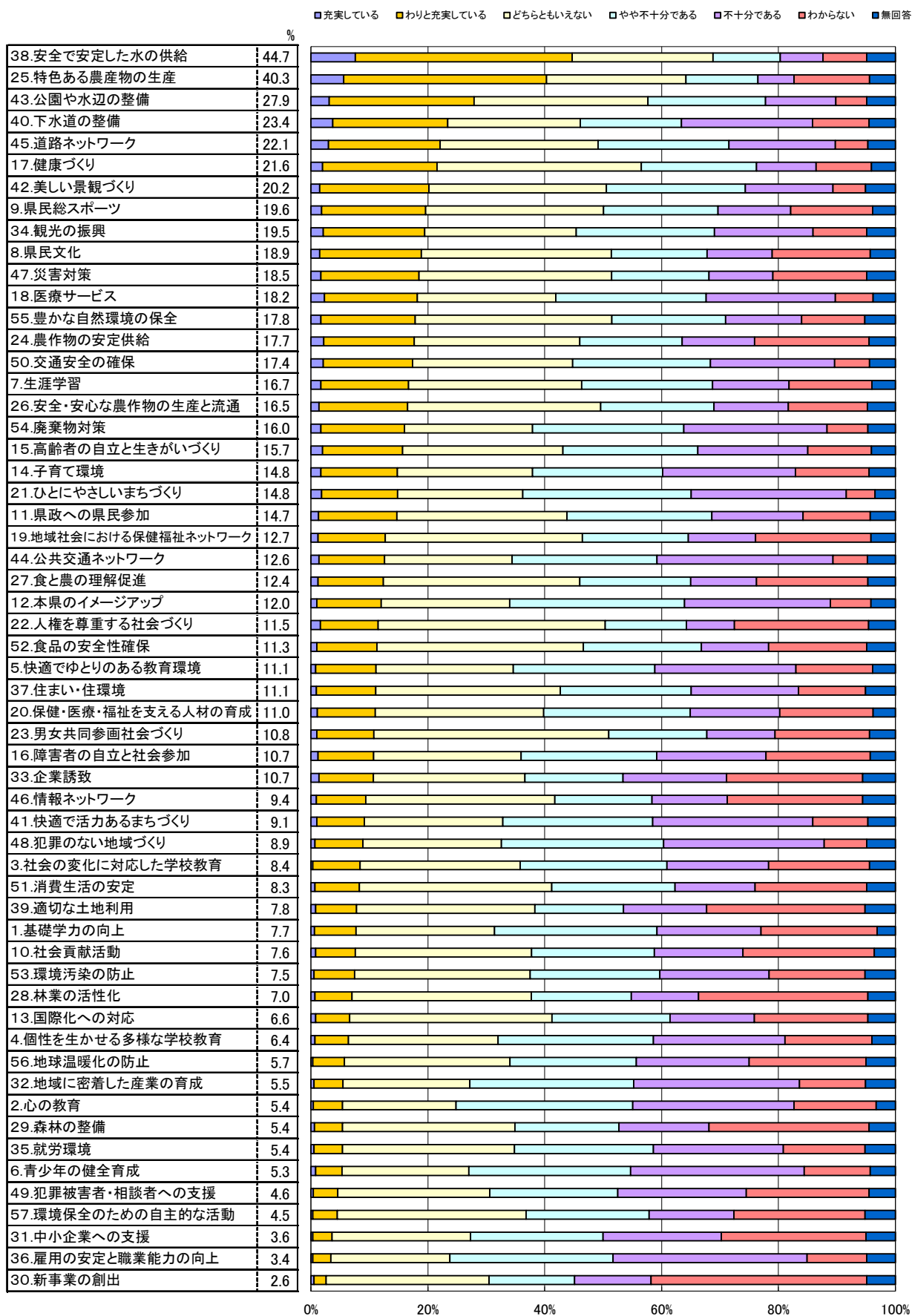
IV	37	住まい・住環境
	38	安全で安定した水の供給
	39	適切な土地利用
	40	下水道の整備
	41	快適で活力あるまちづくり
	42	美しい景観づくり
	43	公園や水辺の整備
	44	公共交通ネットワーク
	45	道路ネットワーク
	46	情報ネットワーク
	47	災害対策
	48	犯罪のない地域づくり
	49	犯罪被害者・相談者への支援
	50	交通安全の確保
	51	消費生活の安定
	52	食品の安全性確保

基本目標5	511	良好な地域環境の保全
	512	廃棄物対策の推進
	521	豊かな自然環境の保全
	522	自然との豊かなふれあいの実現
	531	地球温暖化防止対策の推進
	532	オゾン層保護と酸性雨対策の推進
	541	自主的な環境保全活動の促進
	542	環境学習の推進

V	53	環境汚染の防止
	54	廃棄物対策
	55	豊かな自然環境の保全
	56	地球温暖化の防止
	57	環境保全のための自主的な活動

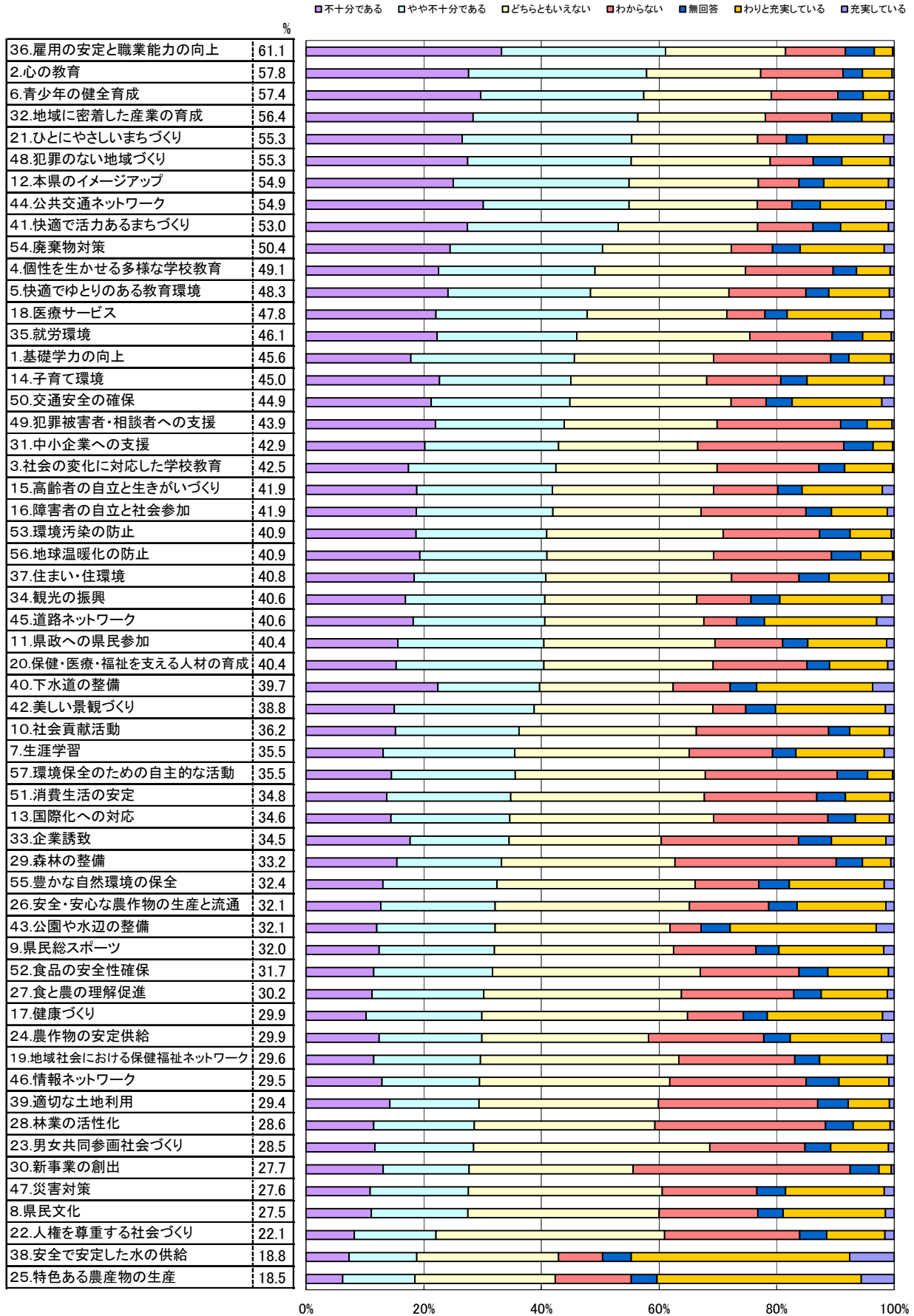
注)都合上、施策番号と項目番号が前後する場合があります。

□「とちぎ」の現状の評価(1) (「充実している」及び「わりと充実している」を回答した割合順)



※回答者全体に対する割合

□「とちぎ」の現状の評価(2)(「不十分である」及び「やや不十分である」と回答した割合順)



※回答者全体に対する割合。

(2) 今後の行政の取組の必要性について

今後の行政の取組に対する県民の期待を把握するため、57分野ごとに次の区分により選択してもらった。

【行政の取組の必要性の程度】		
1. 特に重点的に取組む	2. 現状以上に取組む	3. 現状程度に取組む
4. 現状以下でよい	5. わからない	

57分野の取組の必要性の評価結果はp11のとおりである。

また、「特に重点的に取組む」「現状以上に取組む」と回答した者の割合の合計を『期待意識』として示した。

なお、男女別、年代別、地域別区分は、それぞれ『期待意識』の高い分野・低い分野についての第5順位までを、また、県外居住経験別はすべての分野の『期待意識』を後掲の「参考表」において整理した。

①全体の特徴

『期待意識』の高い分野は、

- ・ 「2. 心の教育」(75.3%)
- ・ 「48. 犯罪のない地域づくり」(71.6%)
- ・ 「36. 雇用の安定と職業能力の向上」(70.0%)
- ・ 「6. 青少年の健全育成」(69.7%)
- ・ 「1. 基礎学力の向上」(68.5%)

一方、『期待意識』の低い分野は、

- ・ 「30. 新事業の創出」(35.7%)
- ・ 「39. 適切な土地利用」(35.7%)
- ・ 「38. 安全で安定した水の供給」(34.5%)
- ・ 「28. 林業の活性化」(34.4%)
- ・ 「22. 人権を尊重する社会づくり」(30.1%)

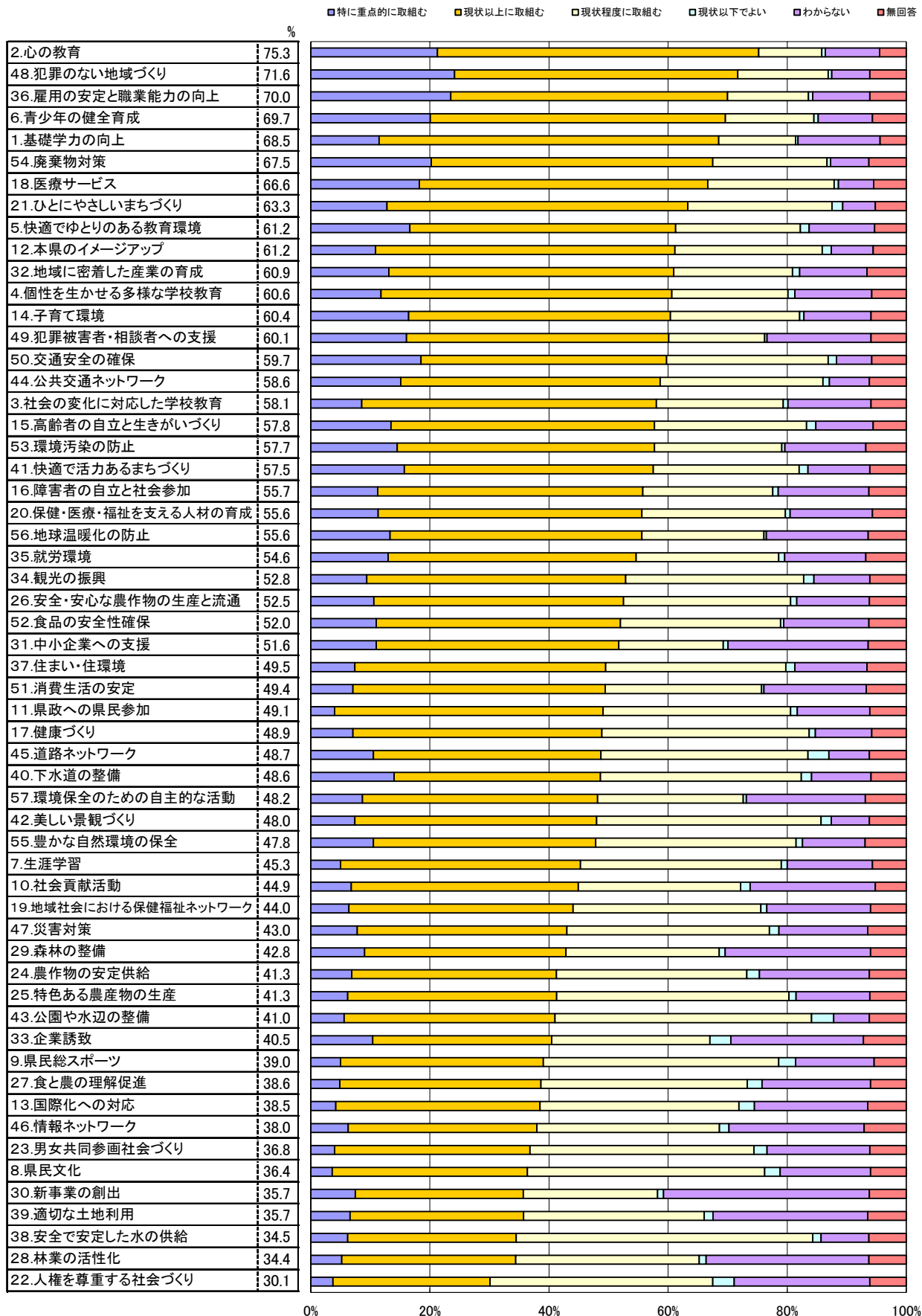
②属性別の特徴

男女間で『期待意識』の差が大きい分野は「30. 新事業の創出」で、男性 44.5%、女性 27.2%である。

年代間では、「46. 情報ネットワーク」が 20～30 歳代で 50.0%であるのに対して、60 歳代以上は 31.6%である。

地域間では「41. 快適で活力あるまちづくり」が県央で 62.5%、県南で 51.3%となっている。

□今後の行政の取組の必要性(「特に重点的に取組む」及び「現状以上に取組む」と回答した割合順)



回答者全体に対する割合

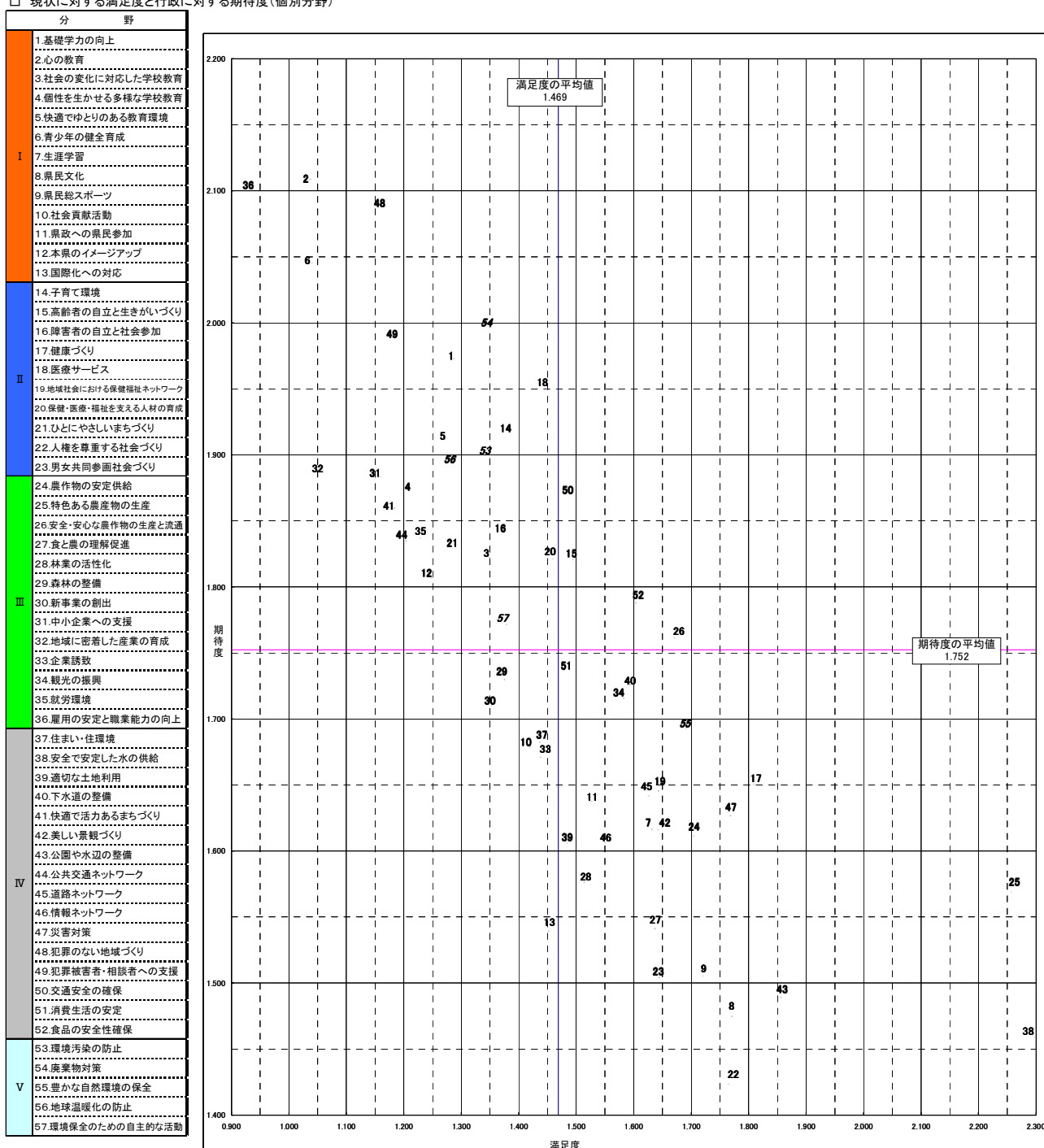
[参考]現状に対する満足度と行政に対する期待度

①個別分野の満足度と期待度

各分野ごとに、現状評価と行政への期待との相関を見るため、満足度（「わからない」「無回答」を除き、「充実している」から「不十分」までを、4点～0点として数値化。）を横軸に、期待度（「わからない」「無回答」を除き、「特に重点的に取組む」から「現状以下」までを、3点～0点として数値化。）を縦軸に設定し、図表にプロットした。

例えば、「32. 地域に密着した産業の育成」の満足度は、「2. 心の教育」や「6. 青少年の健全育成」とほぼ同程度に低いが、行政に対する期待度では、両者よりも低いことを示している。

□ 現状に対する満足度と行政に対する期待度(個別分野)



②満足度と期待度の関係による個別施策の分類

満足度と期待度の関係から、それぞれの分野を下記の4つのグループに分類した。

分類Aの分野は、満足度が低く期待度が高い分野で、今後の充実が求められる分野と言える。この分類には、「教育」「福祉」「経済」「環境」「安全」などの分野が含まれる。

これに対し、分類Dの施策は、満足度が高く期待度が低い分野で、これまでの行政の対応がある程度評価されている、あるいは、行政以外の取組が期待される分野と考えられる。



注)各分野の並びは期待度の高いものが上となっている。

[参考表1]

問3のそれぞれの設問ごとに、現状評価（『不満足意識』）が高い分野、行政の取組の必要性（『期待意識』）が高い分野について、属性別にみると次のとおりとなる。

問3 属性別集計結果(第5順位まで)その1

区分	順位	問3(1)現状評価(不満足意識;高い)		順位	問3(2)行政の取組の必要性(期待意識;高い)	
		項目	割合(%)		項目	割合(%)
全体	1	36.雇用の安定と職業能力の向上	61.1	1	2.心の教育	75.3
	2	2.心の教育	57.8	2	48.犯罪のない地域づくり	71.6
	3	6.青少年の健全育成	57.4	3	36.雇用の安定と職業能力の向上	70.0
	4	32.地域に密着した産業の育成	56.4	4	6.青少年の健全育成	69.7
	5	21.ひとにやさしいまちづくり	55.3	5	1.基礎学力の向上	68.5
	6	48.犯罪のない地域づくり	55.3	6	54.廃棄物対策	67.5
	7	12.本県のイメージアップ	54.9	7	18.医療サービス	66.6
	8	44.公共交通ネットワーク	54.9	8	21.ひとにやさしいまちづくり	63.3
	9	41.快適で活力あるまちづくり	53.0	9	5.快適でゆとりのある教育環境	61.2
	10	54.廃棄物対策	50.4	10	12.本県のイメージアップ	61.2
男性	1	36.雇用の安定と職業能力の向上	61.2	1	2.心の教育	76.3
	2	6.青少年の健全育成	60.7	2	48.犯罪のない地域づくり	74.4
	3	2.心の教育	59.0	3	6.青少年の健全育成	72.2
	4	48.犯罪のない地域づくり	57.7	4	36.雇用の安定と職業能力の向上	71.1
	5	12.本県のイメージアップ	57.5	5	1.基礎学力の向上	70.8
女性	1	36.雇用の安定と職業能力の向上	61.5	1	2.心の教育	74.9
	2	2.心の教育	57.1	2	36.雇用の安定と職業能力の向上	69.7
	3	21.ひとにやさしいまちづくり	57.1	3	48.犯罪のない地域づくり	69.5
	4	32.地域に密着した産業の育成	57.0	4	6.青少年の健全育成	67.7
	5	6.青少年の健全育成	54.4	5	1.基礎学力の向上	66.9
20～30代	1	36.雇用の安定と職業能力の向上	65.7	1	2.心の教育	78.8
	2	44.公共交通ネットワーク	64.6	2	1.基礎学力の向上	73.8
	3	48.犯罪のない地域づくり	59.7	3	48.犯罪のない地域づくり	73.8
	4	12.本県のイメージアップ	59.2	4	36.雇用の安定と職業能力の向上	73.0
	5	32.地域に密着した産業の育成	58.8	5	18.医療サービス	69.3
40～50代	1	36.雇用の安定と職業能力の向上	66.2	1	2.心の教育	79.3
	2	2.心の教育	62.8	2	36.雇用の安定と職業能力の向上	75.1
	3	21.ひとにやさしいまちづくり	62.0	3	48.犯罪のない地域づくり	74.0
	4	6.青少年の健全育成	61.7	4	1.基礎学力の向上	72.4
	5	32.地域に密着した産業の育成	59.1	5	6.青少年の健全育成	72.4
60代以上	1	6.青少年の健全育成	53.2	1	2.心の教育	68.6
	2	2.心の教育	53.0	2	6.青少年の健全育成	67.9
	3	36.雇用の安定と職業能力の向上	51.8	3	48.犯罪のない地域づくり	67.8
	4	32.地域に密着した産業の育成	51.6	4	54.廃棄物対策	63.7
	5	41.快適で活力あるまちづくり	49.5	5	18.医療サービス	63.2
県北	1	36.雇用の安定と職業能力の向上	60.8	1	2.心の教育	72.8
	2	32.地域に密着した産業の育成	58.8	2	36.雇用の安定と職業能力の向上	70.9
	3	6.青少年の健全育成	56.5	3	48.犯罪のない地域づくり	69.9
	4	2.心の教育	53.8	4	6.青少年の健全育成	69.6
	5	44.公共交通ネットワーク	52.9	5	18.医療サービス	67.6
県央	1	2.心の教育	61.4	1	2.心の教育	77.6
	2	36.雇用の安定と職業能力の向上	61.3	2	48.犯罪のない地域づくり	73.8
	3	6.青少年の健全育成	58.2	3	6.青少年の健全育成	71.4
	4	48.犯罪のない地域づくり	58.2	4	1.基礎学力の向上	70.4
	5	41.快適で活力あるまちづくり	57.5	5	36.雇用の安定と職業能力の向上	70.0
県南	1	36.雇用の安定と職業能力の向上	61.5	1	2.心の教育	74.9
	2	6.青少年の健全育成	57.6	2	48.犯罪のない地域づくり	70.7
	3	2.心の教育	56.7	3	36.雇用の安定と職業能力の向上	70.2
	4	12.本県のイメージアップ	56.1	4	6.青少年の健全育成	68.0
	5	21.ひとにやさしいまちづくり	56.1	5	1.基礎学力の向上	67.8

[参考表2]

また、現状評価（『満足意識』）が高い分野、行政の取組の必要性（『期待意識』）が低い分野について、属性別にみると次のとおりとなる。

問3 属性別集計結果(第5順位まで)その2

区分	順位	問3(1)現状評価(満足意識:高い)		順位	問3(2)行政の取組の必要性(期待意識:低い)	
		項目	割合(%)		項目	割合(%)
全体	1	38.安全で安定した水の供給	44.7	1	22.人権を尊重する社会づくり	30.1
	2	25.特色ある農産物の生産	40.3	2	28.林業の活性化	34.4
	3	43.公園や水辺の整備	27.9	3	38.安全で安定した水の供給	34.5
	4	40.下水道の整備	23.4	4	39.適切な土地利用	35.7
	5	45.道路ネットワーク	22.1	5	30.新事業の創出	35.7
	6	17.健康づくり	21.6	6	8.県民文化	36.4
	7	42.美しい景観づくり	20.2	7	23.男女共同参画社会づくり	36.8
	8	9.県民総スポーツ	19.6	8	46.情報ネットワーク	38.0
	9	34.観光の振興	19.5	9	13.国際化への対応	38.5
	10	8.県民文化	18.9	10	27.食と農の理解促進	38.6
男性	1	38.安全で安定した水の供給	46.7	1	22.人権を尊重する社会づくり	32.8
	2	25.特色ある農産物の生産	40.3	2	23.男女共同参画社会づくり	34.0
	3	43.公園や水辺の整備	27.8	3	38.安全で安定した水の供給	34.4
	4	40.下水道の整備	24.8	4	28.林業の活性化	37.5
	5	45.道路ネットワーク	23.3	5	8.県民文化	37.6
女性	1	38.安全で安定した水の供給	42.9	1	30.新事業の創出	27.2
	2	25.特色ある農産物の生産	40.6	2	22.人権を尊重する社会づくり	27.5
	3	43.公園や水辺の整備	28.4	3	28.林業の活性化	31.4
	4	17.健康づくり	23.9	4	39.適切な土地利用	31.6
	5	42.美しい景観づくり	22.5	5	46.情報ネットワーク	33.6
20～30代	1	25.特色ある農産物の生産	42.9	1	28.林業の活性化	27.4
	2	38.安全で安定した水の供給	36.9	2	22.人権を尊重する社会づくり	29.5
	3	43.公園や水辺の整備	26.1	3	38.安全で安定した水の供給	33.2
	4	34.観光の振興	23.9	4	30.新事業の創出	33.5
	5	45.道路ネットワーク	22.2		27.食と農の理解促進	33.5
40～50代	1	38.安全で安定した水の供給	44.2	1	22.人権を尊重する社会づくり	29.9
	2	25.特色ある農産物の生産	41.4	2	28.林業の活性化	33.6
	3	43.公園や水辺の整備	29.4	3	38.安全で安定した水の供給	33.8
	4	17.健康づくり	22.8	4	39.適切な土地利用	35.4
	5	40.下水道の整備	21.6	5	30.新事業の創出	36.1
60代以上	1	38.安全で安定した水の供給	50.9	1	22.人権を尊重する社会づくり	30.7
	2	25.特色ある農産物の生産	37.5	2	46.情報ネットワーク	31.6
	3	40.下水道の整備	28.8	3	39.適切な土地利用	34.2
	4	43.公園や水辺の整備	27.7	4	23.男女共同参画社会づくり	35.4
	5	17.健康づくり	26.4	5	8.県民文化	36.3
県北	1	38.安全で安定した水の供給	46.1	1	22.人権を尊重する社会づくり	34.5
	2	25.特色ある農産物の生産	39.2	2	30.新事業の創出	35.9
	3	43.公園や水辺の整備	30.9	3	8.県民文化	36.1
	4	17.健康づくり	26.0	4	39.適切な土地利用	36.3
	5	42.美しい景観づくり	22.3	5	13.国際化への対応	36.5
県央	1	38.安全で安定した水の供給	47.5	1	22.人権を尊重する社会づくり	30.7
	2	25.特色ある農産物の生産	43.6	2	28.林業の活性化	33.7
	3	43.公園や水辺の整備	29.1	3	38.安全で安定した水の供給	34.0
	4	40.下水道の整備	25.8	4	8.県民文化	36.2
	5	45.道路ネットワーク	23.3	5	39.適切な土地利用	36.9
県南	1	38.安全で安定した水の供給	40.3	1	22.人権を尊重する社会づくり	25.8
	2	25.特色ある農産物の生産	37.2	2	28.林業の活性化	31.9
	3	43.公園や水辺の整備	24.4	3	30.新事業の創出	32.6
	4	40.下水道の整備	22.3	4	38.安全で安定した水の供給	33.0
	5	34.観光の振興	21.9	5	39.適切な土地利用	34.2

〔参考表3〕

また、県外居住経験別に、現状評価（『不滿意識』）、行政の取組の必要性（『期待意識』）についてみると次のとおりとなる。

なお、県外居住経験ごとに、一定の傾向が認められるものを着色して示した。

(1) 居住経験別『不滿意識』比較表

順位	県内居住経験のみ (%)	県内居住経験長い (%)	県外居住経験長い (%)
1	36.雇用の安定と職業能力の向上 61.9	36.雇用の安定と職業能力の向上 63.9	44.公共交通ネットワーク 67.8
2	2.心の教育 57.4	2.心の教育 60.5	21.ひとにやさしいまちづくり 66.0
3	6.青少年の健全育成 56.2	6.青少年の健全育成 59.9	48.犯罪のない地域づくり 64.4
4	32.地域に密着した産業の育成 55.1	12.本県のイメージアップ 58.7	41.快適で活力あるまちづくり 60.6
5	12.本県のイメージアップ 53.4	32.地域に密着した産業の育成 58.2	6.青少年の健全育成 58.7
6	21.ひとにやさしいまちづくり 52.2	48.犯罪のない地域づくり 58.2	32.地域に密着した産業の育成 57.6
7	48.犯罪のない地域づくり 51.7	44.公共交通ネットワーク 58.0	12.本県のイメージアップ 54.2
8	41.快適で活力あるまちづくり 50.9	21.ひとにやさしいまちづくり 57.5	36.雇用の安定と職業能力の向上 53.8
9	44.公共交通ネットワーク 50.8	4.個性を生かせる多様な学校教育 56.5	2.心の教育 53.7
10	54.廃棄物対策 50.1	41.快適で活力あるまちづくり 54.7	50.交通安全の確保 53.4
11	18.医療サービス 47.3	54.廃棄物対策 52.5	4.個性を生かせる多様な学校教育 52.7
12	5.快適でゆとりのある教育環境 46.3	5.快適でゆとりのある教育環境 51.4	18.医療サービス 52.6
13	35.就労環境 45.3	1.基礎学力の向上 50.0	1.基礎学力の向上 52.3
14	14.子育て環境 44.3	35.就労環境 48.9	45.道路ネットワーク 51.9
15	4.個性を生かせる多様な学校教育 44.1	18.医療サービス 48.4	5.快適でゆとりのある教育環境 50.8
16	16.障害者の自立と社会参加 42.9	50.交通安全の確保 47.4	14.子育て環境 49.6
17	31.中小企業への支援 42.7	49.犯罪被害者・相談者への支援 47.3	54.廃棄物対策 48.9
18	49.犯罪被害者・相談者への支援 42.2	14.子育て環境 45.8	3.社会の変化に対応した学校教育 45.8
19	1.基礎学力の向上 42.0	31.中小企業への支援 45.2	11.県政への県民参加 44.0
20	50.交通安全の確保 41.7	11.県政への県民参加 45.0	35.就労環境 43.2
21	3.社会の変化に対応した学校教育 41.1	56.地球温暖化の防止 44.5	15.高齢者の自立と生きがいづくり 43.1
22	15.高齢者の自立と生きがいづくり 41.1	3.社会の変化に対応した学校教育 44.3	34.観光の振興 42.8
23	53.環境汚染の防止 41.0	53.環境汚染の防止 43.4	49.犯罪被害者・相談者への支援 41.7
24	37.住まい・住環境 40.8	15.高齢者の自立と生きがいづくり 43.0	37.住まい・住環境 41.6
25	40.下水道の整備 40.6	34.観光の振興 42.8	42.美しい景観づくり 41.3
26	20.保健・医療・福祉を支える人材の育成 39.6	16.障害者の自立と社会参加 42.7	13.国際化への対応 40.9
27	56.地球温暖化の防止 39.3	20.保健・医療・福祉を支える人材の育成 42.5	56.地球温暖化の防止 40.5
28	45.道路ネットワーク 39.1	42.美しい景観づくり 41.8	40.下水道の整備 39.8
29	34.観光の振興 38.7	37.住まい・住環境 40.7	20.保健・医療・福祉を支える人材の育成 39.4
30	11.県政への県民参加 37.3	40.下水道の整備 39.4	31.中小企業への支援 38.6
31	42.美しい景観づくり 36.7	45.道路ネットワーク 39.4	16.障害者の自立と社会参加 38.3
32	51.消費生活の安定 35.1	10.社会貢献活動 38.6	57.環境保全のための自主的な活動 38.2
33	7.生涯学習 35.0	57.環境保全のための自主的な活動 38.5	7.生涯学習 37.9
34	10.社会貢献活動 34.8	13.国際化への対応 38.4	10.社会貢献活動 36.8
35	33.企業誘致 34.6	7.生涯学習 36.5	43.公園や水辺の整備 36.4
36	57.環境保全のための自主的な活動 33.3	33.企業誘致 36.1	53.環境汚染の防止 35.6
37	24.農作物の安定供給 33.2	29.森林の整備 35.4	51.消費生活の安定 34.5
38	29.森林の整備 33.2	51.消費生活の安定 34.9	55.豊かな自然環境の保全 34.5
39	52.食品の安全性確保 32.8	9.県民総スポーツ 34.6	17.健康づくり 33.3
40	26.安全・安心な農作物の生産と流通 32.1	46.情報ネットワーク 34.4	9.県民総スポーツ 32.2
41	55.豊かな自然環境の保全 32.0	26.安全・安心な農作物の生産と流通 33.2	39.適切な土地利用 32.2
42	43.公園や水辺の整備 31.7	55.豊かな自然環境の保全 33.2	46.情報ネットワーク 32.2
43	13.国際化への対応 31.0	39.適切な土地利用 32.7	33.企業誘致 31.5
44	27.食と農の理解促進 30.9	52.食品の安全性確保 32.3	19.地域社会における保健福祉ネットワーク 30.3
45	9.県民総スポーツ 30.4	8.県民文化 32.2	23.男女共同参画社会づくり 29.9
46	17.健康づくり 28.9	43.公園や水辺の整備 31.7	26.安全・安心な農作物の生産と流通 29.6
47	19.地域社会における保健福祉ネットワーク 28.8	28.林業の活性化 31.6	8.県民文化 28.4
48	28.林業の活性化 27.8	30.新事業の創出 31.3	27.食と農の理解促進 27.7
49	47.災害対策 27.7	23.男女共同参画社会づくり 31.2	29.森林の整備 27.3
50	23.男女共同参画社会づくり 26.7	17.健康づくり 30.8	52.食品の安全性確保 27.3
51	39.適切な土地利用 26.6	19.地域社会における保健福祉ネットワーク 30.8	47.災害対策 26.9
52	46.情報ネットワーク 26.1	27.食と農の理解促進 29.8	30.新事業の創出 25.4
53	30.新事業の創出 26.0	24.農作物の安定供給 27.7	38.安全で安定した水の供給 25.0
54	8.県民文化 24.6	47.災害対策 27.7	22.人権を尊重する社会づくり 23.8
55	22.人権を尊重する社会づくり 20.4	22.人権を尊重する社会づくり 23.8	28.林業の活性化 23.5
56	25.特色ある農産物の生産 19.1	25.特色ある農産物の生産 18.9	24.農作物の安定供給 22.7
57	38.安全で安定した水の供給 19.1	38.安全で安定した水の供給 16.7	25.特色ある農産物の生産 13.7
	平均 38.2	41.3	40.5

(2) 居住経験別『期待意識』比較表

順位	県内居住経験のみ	(%)	県内居住経験長い	(%)	県外居住経験長い	(%)
1	2.心の教育	75.4	2.心の教育	76.6	2.心の教育	76.1
2	36.雇用の安定と職業能力の向上	70.8	48.犯罪のない地域づくり	75.0	48.犯罪のない地域づくり	76.1
3	6.青少年の健全育成	69.5	36.雇用の安定と職業能力の向上	72.8	1.基礎学力の向上	71.6
4	48.犯罪のない地域づくり	69.2	1.基礎学力の向上	71.9	21.ひとにやさしいまちづくり	71.6
5	54.廃棄物対策	67.2	6.青少年の健全育成	71.7	44.公共交通ネットワーク	70.8
6	18.医療サービス	67.0	54.廃棄物対策	68.5	54.廃棄物対策	69.7
7	1.基礎学力の向上	66.5	18.医療サービス	67.0	50.交通安全の確保	69.3
8	14.子育て環境	61.0	4.個性を生かせる多様な学校教育	66.1	18.医療サービス	68.6
9	21.ひとにやさしいまちづくり	61.0	12.本県のイメージアップ	65.3	6.青少年の健全育成	68.2
10	5.快適でゆとりのある教育環境	59.8	21.ひとにやさしいまちづくり	65.1	41.快適で活力あるまちづくり	68.2
11	12.本県のイメージアップ	59.7	32.地域に密着した産業の育成	64.4	36.雇用の安定と職業能力の向上	64.8
12	49.犯罪被害者・相談者への支援	59.5	5.快適でゆとりのある教育環境	64.0	5.快適でゆとりのある教育環境	63.6
13	32.地域に密着した産業の育成	58.7	3.社会の変化に対応した学校教育	62.1	3.社会の変化に対応した学校教育	62.2
14	50.交通安全の確保	58.6	49.犯罪被害者・相談者への支援	62.0	32.地域に密着した産業の育成	62.1
15	53.環境汚染の防止	58.3	14.子育て環境	60.2	14.子育て環境	61.7
16	15.高齢者の自立と生きがいづくり	58.2	44.公共交通ネットワーク	59.8	4.個性を生かせる多様な学校教育	61.4
17	4.個性を生かせる多様な学校教育	57.8	50.交通安全の確保	59.5	49.犯罪被害者・相談者への支援	59.5
18	16.障害者の自立と社会参加	57.6	53.環境汚染の防止	59.1	45.道路ネットワーク	59.1
19	20.保健・医療・福祉を支える人材の育成	56.7	56.地球温暖化の防止	59.1	12.本県のイメージアップ	58.4
20	41.快適で活力あるまちづくり	55.7	15.高齢者の自立と生きがいづくり	58.7	15.高齢者の自立と生きがいづくり	56.0
21	44.公共交通ネットワーク	55.7	35.就労環境	57.6	37.住まい・住環境	55.7
22	3.社会の変化に対応した学校教育	55.4	41.快適で活力あるまちづくり	57.6	34.観光の振興	55.3
23	56.地球温暖化の防止	53.9	20.保健・医療・福祉を支える人材の育成	56.4	56.地球温暖化の防止	55.3
24	35.就労環境	53.7	16.障害者の自立と社会参加	55.7	11.県政への県民参加	54.9
25	52.食品の安全性確保	53.7	34.観光の振興	55.4	53.環境汚染の防止	53.8
26	26.安全・安心な農作物の生産と流通	53.1	31.中小企業への支援	55.1	57.環境保全のための自主的な活動	53.4
27	31.中小企業への支援	50.8	26.安全・安心な農作物の生産と流通	53.2	35.就労環境	53.1
28	34.観光の振興	50.6	52.食品の安全性確保	52.4	55.豊かな自然環境の保全	52.7
29	40.下水道の整備	50.2	11.県政への県民参加	52.2	42.美しい景観づくり	51.9
30	51.消費生活の安定	50.0	42.美しい景観づくり	50.3	16.障害者の自立と社会参加	50.8
31	17.健康づくり	49.7	55.豊かな自然環境の保全	50.1	20.保健・医療・福祉を支える人材の育成	50.7
32	45.道路ネットワーク	49.3	57.環境保全のための自主的な活動	50.0	7.生涯学習	50.0
33	37.住まい・住環境	49.1	51.消費生活の安定	49.7	17.健康づくり	49.2
34	11.県政への県民参加	46.7	37.住まい・住環境	49.0	26.安全・安心な農作物の生産と流通	49.2
35	42.美しい景観づくり	46.1	10.社会貢献活動	48.7	31.中小企業への支援	48.9
36	57.環境保全のための自主的な活動	46.1	17.健康づくり	48.7	40.下水道の整備	48.1
37	55.豊かな自然環境の保全	45.8	40.下水道の整備	48.2	43.公園や水辺の整備	48.1
38	19.地域社会における保健福祉ネットワーク	45.1	7.生涯学習	47.1	51.消費生活の安定	48.1
39	24.農作物の安定供給	44.6	29.森林の整備	46.5	52.食品の安全性確保	47.8
40	47.災害対策	44.5	45.道路ネットワーク	46.0	10.社会貢献活動	46.2
41	7.生涯学習	44.0	19.地域社会における保健福祉ネットワーク	44.2	13.国際化への対応	44.7
42	25.特色ある農産物の生産	43.1	33.企業誘致	43.3	47.災害対策	44.3
43	10.社会貢献活動	42.1	13.国際化への対応	41.6	46.情報ネットワーク	42.4
44	29.森林の整備	41.7	25.特色ある農産物の生産	41.3	9.県民総スポーツ	42.0
45	43.公園や水辺の整備	41.0	8.県民文化	41.1	19.地域社会における保健福祉ネットワーク	40.9
46	27.食と農の理解促進	39.3	47.災害対策	40.8	8.県民文化	39.8
47	33.企業誘致	39.3	46.情報ネットワーク	40.6	29.森林の整備	39.0
48	9.県民総スポーツ	38.0	24.農作物の安定供給	40.2	33.企業誘致	38.6
49	23.男女共同参画社会づくり	36.8	9.県民総スポーツ	39.6	38.安全で安定した水の供給	38.3
50	38.安全で安定した水の供給	36.4	30.新事業の創出	39.6	39.適切な土地利用	37.1
51	46.情報ネットワーク	36.1	39.適切な土地利用	39.2	27.食と農の理解促進	35.6
52	13.国際化への対応	35.4	43.公園や水辺の整備	39.2	30.新事業の創出	35.6
53	39.適切な土地利用	33.4	27.食と農の理解促進	38.7	25.特色ある農産物の生産	34.8
54	30.新事業の創出	33.2	23.男女共同参画社会づくり	37.9	23.男女共同参画社会づくり	34.4
55	28.林業の活性化	33.1	28.林業の活性化	37.0	28.林業の活性化	31.8
56	8.県民文化	33.0	22.人権を尊重する社会づくり	31.0	24.農作物の安定供給	31.5
57	22.人権を尊重する社会づくり	29.5	38.安全で安定した水の供給	31.0	22.人権を尊重する社会づくり	30.3
	平均	50.5		52.7		52.3

(3) これからの県民の役割について

今後、県民（個人、企業、各種団体などの民間全般）の役割が大きくなるであろう分野について、県民の意識を把握したものである。

(1)、(2)と同じ分野ごとに、県民の役割が、現状以上に高くなると考えるものを選択してもらった。

その結果、「県民の役割が大きくなる」と回答した者の割合が高い分野は、

- ・ 「2. 心の教育」(52.4%)
- ・ 「6. 青少年の健全育成」(50.7%)
- ・ 「10. 社会貢献活動」(47.9%)
- ・ 「54. 廃棄物対策」(46.2%)
- ・ 「48. 犯罪のない地域づくり」(44.4%)
- ・ 「15. 高齢者の自立と生きがいつくり」(42.0%)

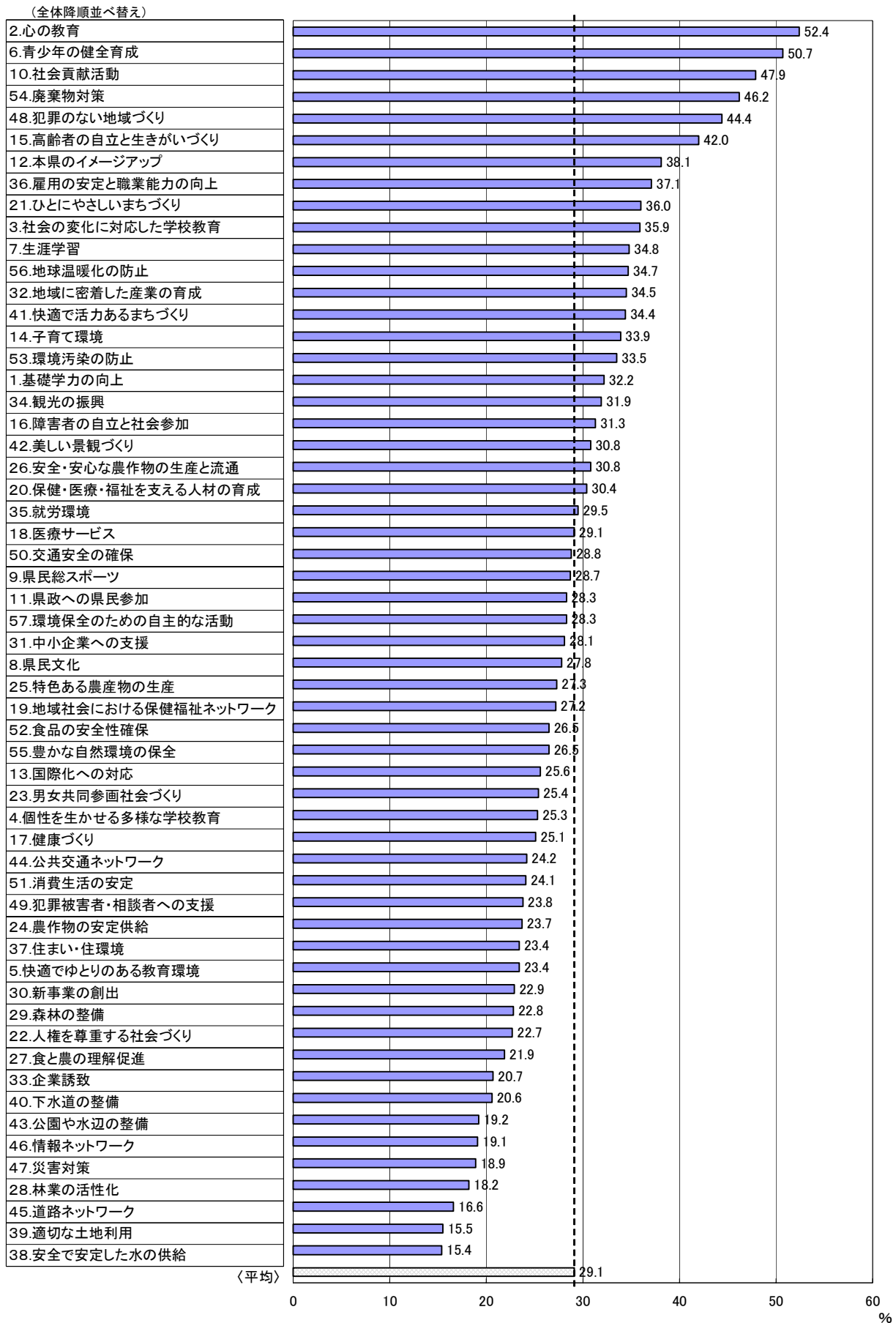
一方、「県民の役割が大きくなる」と回答した者の割合が低い分野は、

- ・ 「38. 安全で安定した水の供給」(15.4%)
- ・ 「39. 適切な土地利用」(15.5%)
- ・ 「45. 道路ネットワーク」(16.6%)
- ・ 「28. 林業の活性化」(18.2%)
- ・ 「47. 災害対策」(18.9%)
- ・ 「46. 情報ネットワーク」(19.1%)
- ・ 「43. 公園や水辺の整備」(19.2%)

57分野ごとの「県民の役割が大きくなる」と回答した者の割合はp19のとおりである。

なお、男女別、年代別、地域別、県外居住経験別で、その回答に大きな差異はないため、表は省略した。

□県民の役割が現状以上に大きくなる分野



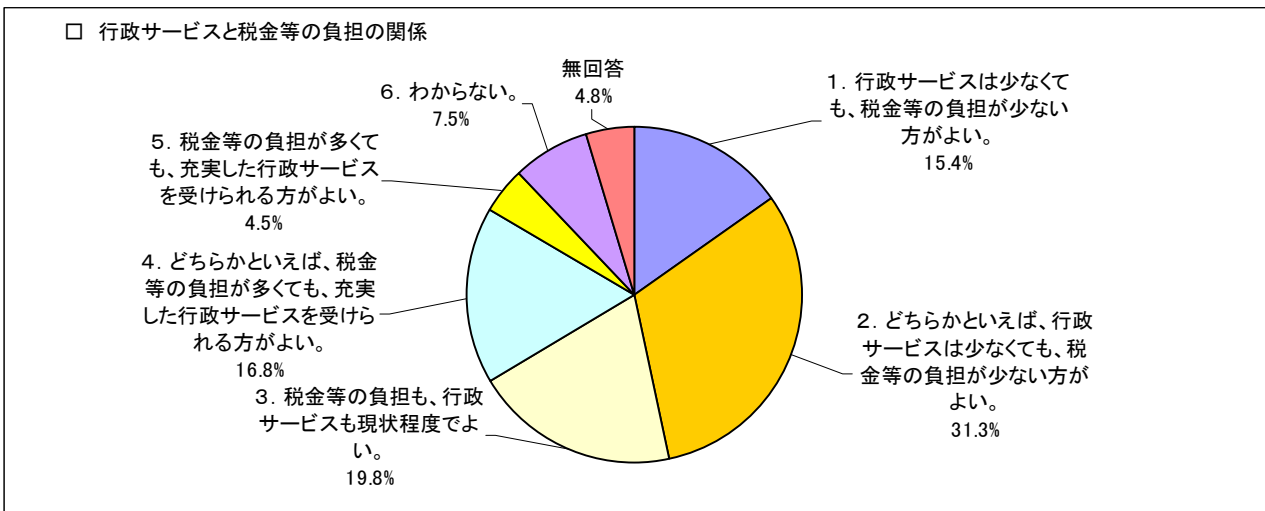
4. 今後の行政サービスと税金等の負担の関係

行政サービスに伴う「給付と負担」に関する県民意向を把握したものである。

「どちらかといえば、行政サービスは少なくとも、税金等の負担が少ない方がよい」と回答した者が最も多く、全体の31.3%となっている。

逆に、「税金等の負担が多くても、充実したサービスが受けられる方がよい」は最も少なく、4.5%となっている。なお、無回答として処理したものの中には、「税金等の負担が少なくても、充実したサービスが受けられる」と記入した者も見受けられた。

性別、年代別等の属性区分ごとに、明らかな差は認められなかった。



5. “とちぎ”づくりの参加意向

今後の“とちぎ”づくりに向けた県民の参加意向を把握したものである。

「できる範囲で何かしたい」を選択した者が圧倒的に多く、全体の74.4%を占めている。次いで、「積極的に何かしたい」が6.8%となっており、これらの「・・・何かしたい」という参加意向を有している者の割合は、全体の8割を超えている。

性別、年代別等の属性区分ごとに、明らかな差は認められなかった。

